

# YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。  
(ペテロの手紙第一 2章42節)

2025/9/15(月)

## 伝道者の書 7章

●自分の(この地上の)人生の終わりについて考えることはある？それを考えることはなぜ良いのだろうか？また、そのことを全く考えることなく生きることとはなぜ愚かなのだろうか？

●調子が良い日も、上手くいかない日も、その両方が神様によって私たちに備えられているとしたら、今日一日をどのように見ることができるだろうか？

●20節のことばを、真実なものと読むことができる？イエス様の十字架がなぜ必要だったのかを思い巡らそう。

2025/9/16(火)

## 伝道者の書 8章

●王の命令を守れということばは、私たちにとってどのような意味を持つだろう。もしすべての権威が神からのものなら、権威者のためにどのようにとりなし祈れば良いだろうか？

●6-8節を読んで、人の限界について考えてみよう。人がどんな優れた存在になったとしても、不可能はあるのだろうか？

●この世界の理不尽なことを見聞きしてどう感じる？神様がいらっしゃるならなぜと思うことはあるだろうか。全てを理解することはできずとも、神を恐れて生きよと伝道者は語る。あなたにとって神を恐れるとはどのようなこと？

2025/9/17(水)

## 伝道者の書 9章

素晴らしいと称えられる人にもモブと呼ばれるような人にも善人にも悪人にも死は平等にくる。人が死ぬ時は積み上げた全てを失う。(4-6)だとしたら地上ですることは何も意味がないのかという疑問を持つかもしれない。伝道者は「神はあなたのわざを喜んでおられる」と語る。(7)神様は私たちの良いわざを見ておられ喜び、また天への希望を与えてくれる。神が見ているならどのように生きるかはとても大切で、神を信じて生きることこそ本当の知恵である。神の救いに導く信仰者の存在は実はこの世の支配者よりも影響力がある。(17)

・あなたの小さな愛のわざが誰かの心にずっと残ることがあるとしたらあなたは今日何をするだろう？

2025/9/18(木)

## 伝道者の書 10章

●1節に書いてある『少しの愚かさ』ってなんだろう？考えてみよう

この箇所は愚かな事がどんな事かかいてある箇所だよ。自分の仕掛けた罠にかかったり(8節)、一番いいタイミングを見極めきれずに失敗してしまう愚かさ(11節)、忙しく動き回っているのに、本当に為すべきことがわからない愚かさ(15節)だったり書かれているよ。だけど香油をダメにしまうような愚かさは右を見ること。つまり神さまをみないことなんだ。(詩篇14:1)『神はいない』という人はこの章のような愚かな道にいつてしまうよ。神様を信じる言うことは賢い生活にもつながるんだ。愚かにならないために、神様の土台に立てるように祈ろう！

2025/9/19(金)

## 伝道者の書 11章

●5vを読もう。あなたは何を知らないと書いてあるかな？

●今分かっていることを握りながら、自分には知らないことがある、と言える人は謙遜な人だよ。そういう人はさらに学ぼうとする人なんだ。

●1vパンを水に投げるのは無駄なことに見える。今はすぐに結果が出ないことでも、神様に示されたらやり始めてみても良いんじゃないかな。迷っていることはあるかい？全知全能の神様に聞いてチャレンジしてみよう！

2025/9/20(土)

## 伝道者の書 12章

「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。」今まさにみんなは「若い日」を生きている年齢だね。伝道者の書の最後の箇所では、この地で生きていくときに実際にある時間や物理的な限界もはっきり書かれているよね。だけど、それ以上に神様を知ること、神様に信頼して神様を恐れ、神様に従って歩むことが励まされている。「これが人間にとってすべてである」と書いてあるくらい、私たちの人生にとって、神様との歩みは必要なことなんだ。

今日神様を恐れる、信頼するために、神様を覚えるために私たちはどうしたらよいかな？

神様の心をもっと知ることができるように祈っていきましょう！

2025/9/21(日)

## エレミヤ 1章

エレミヤが神様に預言者として召された時に、若さを理由にためらいましたが、神様は「まだ若い、と言うな。…彼らの顔を恐れるな」と告げたことに合わせて、神様の御手を伸ばしてエレミヤの口に触れ、エレミヤの口にみことばを置かれました。神様がエレミヤに見せた2つの幻の「アーモンドの枝」は「時を見る」ことを教え、「煮え立った釜」は北から来るわざわい(バビロン)のことを示しています。エルサレムの民が他の神を拝んだことに対する神様の裁きを伝えるようエレミヤは神様に命じられ、顔を恐れずに語る召しを受けました。

祈り  
神様、人の評価や批判におびえることなく、あなたに従えますように。